



第17号

誌名：平成武師道  
発行元：平成武師道活学塾事務局  
京都市下京区麩屋町四条下ル八文字町 341  
総合打撃道 TEL：075-361-1199

監修：山口 貴史 山下 希哉  
編集：兵庫 義幸

～礼儀と節度を考える～

# 平成武師道

## 〈人間活動学〉



人の喜びを我が喜びに変え拍手できる器の大きな人間を目指すのが平成武師道の方向である。  
人の喜んでいる姿を見て、自分の喜びにも感じられる心は気持ちの良いものだ。  
人の失敗や不幸を観て楽しんでいるワイドショーなどは不愉快になってくる。  
最近は平気で入れ墨やタトゥーを入れた格闘技の選手が多くなってきたが、平気でテレビ局は放送するようになった。  
視聴者はどう考えてテレビを観ているのだろうか？  
いつからそんな時代になったのだろうか？  
別に何をしようが人の勝手だが、気分を害するような事を平気でやっては欲しくない。  
テレビ局も報道の自由とやらも必要かも知れないが、もっと人としての節度も考えてもらいたいものだ。  
とにかく気持ちの良いものが溢れた社会にしていく努力と行動が大切である。  
政治家は多くの人達を幸せにするとやっているが、身の回りの近い人をきちんと幸せにしているだろうか？  
近くの者でさえ幸せにできない人間が、1億もの人を幸せにできるだろうか？  
もっともっと身近な人から幸せにしていく行動が、いずれ多くの人達へとつながっていくに違いないと思う。  
平成武師道は焦らず確実に気持ちの良いものができるよう、一步一步踏み出していきたい。

佐々木